

外国語科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法リーフレット

「主体的に学習に取り組む態度」の評価に対する先生方の思い・・・



生徒のパフォーマンスを評価する項目をいろいろ作ってみたけど、よく考えると「知識・技能」の評価にもなりそう・・・

英作文やプレゼンテーションなど、評価場面・材料・項目をたくさん設けてはいるけど整理しきれない・・・



そんな思いにお応えするリーフレットです！教科に限らず、校内の皆さんでぜひご覧ください！



- 府立高校の実践事例 1
スピーチ 『My suggestion to make our school better』 [p. 2～]
- 府立高校の実践事例 2
要約及びDictogloss 『Sesame Street Challenges a Current Problem』 [p. 5～]
- まとめ [p.10～]
- 参考資料・単元計画等 [p.12～]

府立高校の実践事例 1 : スピーチ 『My suggestion to make our school better』

目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
世界の学校制服に関する情報やその背景を理解し、概要や要点を捉えることができる。 	目的や場面、状況に応じて情報を活用し、多様な語句や文を用いてメリットや理由、具体例を示しながら、聞き手が納得するように伝えることができる。	質問や自己開示、データの提示などの工夫をしながら、聞き手を意識して自分の考えを伝えようとする。

評価規準(実現したい生徒の姿)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 技能を働かせながら、世界の学校制服に関する情報や、その背景を理解し、それをもとに、学習した語彙を活用して、自分の考えを伝えている。	聞き手に自分の提案を納得してもらえるように、メリットや理由、具体例を示しながら論理性に注意して書いている。	聞き手に自分の提案を納得してもらえるように、質問、自己開示、データを示すなどの「つかみ」を活用し、聞き手の理解度を確かめながら発表しようとしている。

題材の流れ

- ・本文Part1 : 日本の学校制服について
- ・スピーチのテーマ「学校をよくする提案」に関するブレインストーミング
- ・スピーチに向けて、パラグラフ構成を学ぶ (1 時間)

- ・本文Part2 : 世界の制服とその背景について
- ・スピーチに向けて、効果的なイントロダクションについて学ぶ (1 時間)

- ・本文Part3 : 制服がない国とその背景について
- ・本文Part4 : 制服に賛成か反対か、その理由について
- ・スピーチ原稿のピアチェック、提出 (2 時間)

スピーチ練習 (1 時間)

スピーチ «パフォーマンステスト» (1 時間)



単元計画はp.13,14

「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価

(1) 評価場面：スピーチ 《パフォーマンステスト》

詳細：

- ① スピーチの原稿を事前に提出する。
- ② スピーチ当日、生徒は原稿を見ずに教員の前で1分程度の発表をする。

提出されたスピーチ原稿で「思考・判断・表現」を評価する

実際のスピーチで「主体的に学習に取り組む態度」と「思考・判断・表現」を評価する

スピーチ内容：

あなたは生徒会の役員として、「学校をより良くするための提案」をクラスメートに発表することになりました。学校の現状と課題を明確にしながら、改善するメリットを伝え、相手を納得させるように話してください。

目的・場面・状況を明確にしている

(2) 主体的に学習に取り組む態度の判断基準

「十分満足できる」状況 (A)	「概ね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒への支援の手だて
聞き手を意識して、話すスピードや間の取り方、ジェスチャーなどを十分に工夫して発表している。	聞き手を意識して、話すスピードや間の取り方、ジェスチャーなどを工夫して発表している。	「発音の仕方がわからない」生徒には事前の発音指導、「自分が使う英語が正しいのか自信がない」生徒には原稿の添削を通して、相手を意識して話せる状態になるよう支援する。
		

(3) 使用した評価シートと評価項目

スピーチ評価シート

Name ()											
Delivery	5	4	3	2	1	Eye contact/gesture	5	4	3	2	1
Pronunciation	5	4	3	2	1	Content	5	4	3	2	1
Comments											

Delivery	<ul style="list-style-type: none"> 話す時に意識して「間」をとったり「スピードを変化」させたりしているか 相手の理解度に応じて「繰り返し」や「言い換え」をしているか
Eye contact /gesture	<ul style="list-style-type: none"> 「アイコンタクト」をしてコミュニケーションができているか 相手に内容が伝わりやすいように「ジェスチャー」を工夫しているか



TOTAL	
10～9	A
8～4	B
3～2	C

Delivery (5点) とEye contact/gesture (5点) の合計をABCに換えて、「主体的に学習に取り組む態度」の評価とする

Content	<p>話が聞きたくなるような「効果的な伝え方」を試みているか (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問 (聴衆への問いかけ) → “Do you think ~?” ・自己開示 (エピソードの開示) → “I think that ~.” ・データ (根拠となる事実の提示) → “This data shows that ~.”
---------	--

Content (5点) は「思考・判断・表現」の評価に加える

(4) 評価例 (スピーチ中の生徒の様子)

評価：B



えっと、自分が
言うことは・・・

Hello everyone. Do you think break time is limited? I think there are things that we can improve.

聞き手を見ながら「つかみ」
を話し始めることができた
(Eye contact◎)

I'll tell you what to do. I'll suggest that we should ... in...? ...

... (あっ!) increase break time.

原稿を思い出すことに集中して
しまい、アイコンタクトができな
かった (Eye contact▲)

I'll explain three good points to do it. First, we can move to a classroom calmly. Second, we can concentrate on studying.

For example, if we.....

先ほどの時間を取り戻そうとして早口
になった (Delivery▲)

評価：A



相手に思いを
伝える！！

What do you think about your school? I really enjoy my school

「つかみ」の部分から聞き手を意識した
アイコンタクトができた (Eye contact◎)

life. However, I want to make this school better. From now

on, I'll suggest that students should be allowed to use a

portable fan during class after PE. I'm going to explain its 2

数字を示すジェスチャーを加えた (gesture◎)

upsides now.

相手に伝わりやすいように少し間をとって
話を続けられた (Delivery◎)

First, we often feel too hot to study after PE because we

exercise a lot and.....

目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 文章から主要な情報や重要な項目を判断して選び出すことができる。 選んだ情報や主旨を簡潔にパラフレーズできる。 表現をつなぎ合わせて英文を構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話の流れや展開を考えて、文章全体の構成を整えることができる。 本文を要約する際、抽象的な概念などの説明を工夫して書くことができる。 得た知識を新しい文脈や類似の別の場面で創造的に使用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成した英文に対して、修正や改善を行おうとする。 作成した英文をクラスメートの英文と比較し、成果や課題を認識しようとする。

評価規準(実現したい生徒の姿)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報の重要度を判断して、表現を選び出している。 選び出した表現や主旨を自分の言葉で言い換えることができている。 表現をつなぎ合わせて英文を作ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話の流れや展開を考えて、文章全体の構成を整えることができている。 要約する際、本文に出てくる例や抽象的な語の概念の説明を工夫して書くことができている。 すでに学んだ知識と新しい情報を結びつけてまとめることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成した英文を改善しようとしている。 クラスメートとの対話や交流を学びに生かすことで、自分の学習の成果や課題を認識しようとしている。

題材の流れ

教科書の各Section (1～4) について

- 新出単語の確認、本文の内容理解
- 音読活動、本文についてのQ&A
- 重要表現のまとめ

(8時間)

Section 1～4 全体の要約を作成する

- ペアで要約文を読み合い、必要に応じて修正する
- 自分の要約文を振り返る

(1時間)

Dictoglossをする

- クラスメートの作品と比較して、自分の作品を振り返る

(1時間)

単元計画はp.15

「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価①

(1) 評価場面①：要約文の作成とその振り返り

詳細：

- ① Section 1～4 全体を読み直す。
- ② 文と文のつながりを意識し、言い換え表現を積極的に用いて要約文を書く。
- ③ ペアで読みあって、必要があれば自分の要約文を修正する。
- ④ 要約文の作成にあたって工夫したところを振り返りシートに記入する。

・必要な内容を網羅しているか
・首尾一貫した英文を書いているかを、要約文で見取り、「思考・判断・表現」の評価とする。

振り返りシートの記述を要約文と照らして、「主体的に学習に取り組む態度」の評価とする。

(2) 主体的に学習に取り組む態度の判断基準

「十分満足できる」状況 (A)	「概ね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒への支援の手立て
クラスメートの要約文と比較・検討して要約文を書きあげたうえで、完成させるにあたり工夫したことについて具体的に振り返っている。	クラスメートの要約文と比較・検討して要約文を書きあげたうえで、完成させるにあたり工夫したことについて振り返っている。	本文中の重要な情報のキーワードを確認する。 キーワードを使った短文を作れるようにヒントを示す。

(3) 使用した振り返りシートと評価項目

第9時の振り返りシート

1. 話の主旨を整理し、何を書くべきか考えることができた。	5	4	3	2	1
2. そのために必要な表現を考えることができた。	5	4	3	2	1
3. 選んだ表現をつないで英文を書くことができた。	5	4	3	2	1
4. 自分なりに言い換えを考えた。	5	4	3	2	1

5. あなたの要約文がより良くなるように工夫したことを書きましょう。



この振り返りシートの記述が、その生徒の要約文に表れているかを見て、「主体的に学習に取り組む態度」の評価とします。

6. このSummary Writingで学んだこと、気付いたことは何ですか。

要約

Sesame Street is a popular educational program. Many of the characters reflect what is happening in the world. It teaches children important lessons. Some characters represent children facing challenges. Through these characters, the viewers learn about current social problems.

○本文から抜き出した文を読みやすく並べている

振り返りシート

評価：B

段落ごとに大事なところはどこかまず考えて、大まかに流れを決めて書いた。要約を書くことで内容の理解が深まることに気づいたし、要約には説明されていることをまとめる力が必要だと思った。

○活動で何を意識したか書かれているが、具体性には欠ける

要約

Sesame Street is an educational program. The program has ① a lot of characters. It creates new characters ② that reflect what's happening in the world. And it tells important messages: diversity, equity and inclusion for us. Sesame Street's characters diversity shows a world where people with different background live in harmony.

◎自分なりに書き換え、工夫した文が見られる

振り返りシート

評価：A

教科書の文をそのまま書くより、自分の知っている言葉で書くことに気を付けた(①)。それから、教科書の2文を関係代名詞で1文にしてみた(②)。

◎工夫について具体的に振り返っている

「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価②

(1) 評価場面②：Dictogloss

※英文を聞きながらメモを取り、複数人で協力して（または個人で）文を再構築する活動。Dictationとは違い、聞こえた文をそのまま再現する必要はない。

詳細：

- ①読み上げられる英文を聞いてメモを取る。
- ②書きとったメモを持ち寄り、共有する。
- ③共有した内容と自分のメモをもとに英文の内容を自分で再構築する。
- ④再構築した英文（作品）をグループで見せ合っ、自分の作品を改善する。
- ⑤自分の作品について工夫したことやクラスメートとの交流で気付いたことを振り返りシートに記入する。

振り返りシートの記述を作品と照らして、「主体的に学習に取り組む態度」の評価とする。

(2) 主体的に学習に取り組む態度の判断基準

「十分満足できる」状況 (A)	「概ね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒への支援の手だて
クラスメートの作品との比較などにより、自分の作品の改善点を見出して作品に生かしている。	クラスメートの作品との比較などにより、自分の作品の改善点を見出している。	重要な情報のキーワードを提示し、それらをすべて使用して最後まで書きあげるように指導する。クラスメートの作品との違いに気付かせるような問いかけをする。

Dictoglossにおいて、生徒の到達段階によっては、「聞き取り」の部分で躓きがある場合も考えられます。どのように提示するかなど、聞き取りの段階でのフォロー方法もあらかじめ準備しておくことが大切です。

(3) 使用した振り返りシートと評価項目

第10時の振り返りシート

1. 話を聞き取ることができた。	5	4	3	2	1
2. 主要な情報や重要な項目を判断して選び出そうとした。	5	4	3	2	1
3. フレーズをつなぎ合わせて英文を書こうとした。	5	4	3	2	1
4. 話の流れや展開を考えて、文章全体の構成を考えた。	5	4	3	2	1

5. 友だちと話し合っ、気付いたことはありましたか。

6. 作品を完成させるにあたって、工夫したことは何ですか。



話し合いなどの活動を通して、表現を改善したり、自分で書いた文章に付け足したりした部分を色ペンで書き加えるようにすると、振り返りシートと照らし合わせて、生徒の変容が読み取りやすくなります。

7. Dictoglossの活動を通して感じたことや考えたことは何ですか。

Dictogloss (生徒の作品例)

Sesame Street made a program to stay healthy. There are "stay home" "wash their hands" and "wear masks." It made a video which popular characters get a vaccine. Sesame Street started a new website for remote learning. It gives information and life lessons to children around the world.

振り返りシート

リスニングもできなかったし、作文もできなかったので悔しかった。英語力をつけるためにもっと文章を読んで単語力をつけたいと思った。特に、文と文をつなぐ接続詞がうまく使えなかったので、もっと知りたいと思った

評価：B

○作品ではつなぎ言葉を使用できていないことに気付いている

Dictogloss (生徒の作品例)

Sesame Street challenges a current problem focus on Corona virus. It shows staying home, washing their hands and wearing masks. The characters, Elmo, Cookie Monster and Big Bird, are well-known in the world. They encourage children. Sesame Street created a new website. Because we can't go out due to the corona virus.

From the above, Sesame Street continues to send important messages.

振り返りシート

自分だけではどう書いたらいいかわからなかったところを友だちが今までに習った表現が使えると教えてくれた。また、グループで話し合ったとき、人によって文と文のつなげ方が全然ちがっていて、こんな方法もあるんだという発見ができた。

評価：A

◎クラスメートとの交流を通じて書き換えたり、つなぎ言葉を加えたりするなど（作品の下線部分）して、作品を「よりよい」ものにしようとしている

外国語科の「主体的に学習に取り組む態度」については、

- ①相手意識（※）をもってコミュニケーションを図ろうとしているか
- ②コミュニケーションや振り返りを通して自分の力を伸ばそうとしているか

が重要です。

※ 相手意識とは（4技能別）



- ・ 聞き手に対して、相手の理解を確認して話す速度を調整しながら話す
- ・ 読み手に対して、相手の背景知識に応じて情報量を調整して書く
- ・ 話し手に対して、相手の話に相づちをうちながら聞く
- ・ 書き手に対して、相手の伝えたいことを推測しながら読む

など

そこで、授業では…

- 授業を実際のコミュニケーションの場面にする！
（例）
 - ・ 帯活動などで教員から話しかけて、生徒と英語でやり取りする
 - ・ グループ学習など生徒どうしの協働的な活動を取り入れる
- 学んだことをアウトプットする機会を設定する！
（例）
 - ・ 自分の意見を相手に伝えるように工夫して表現する言語活動をする
 - ・ 目的・場面・状況を設定したパフォーマンステストを実施する
- メタ認知を促す仕掛けを工夫する！
（例）
 - ・ 他者との交流で自分ができなかったことに気付き、次に生かす
 - ・ 振り返りを通して、自分ができたことを確認し、次にめざす目標を考える

それにより、パフォーマンステストや振り返りシートなどで…

- ①相手意識をもってコミュニケーションを図ろうとしている姿を
 - ・ 相手を意識してアイコンタクトをしているか
 - ・ 伝えたいことを補足するジェスチャーを活用しているか
 - ・ 聞き手に伝わる声の大きさを話しているか
 - ・ 言い換えや繰り返しなど、相手を意識した発話があるか
 - ・ 会話を発展させるための相づちや質問を使用しているか

で評価し、
- ②コミュニケーションや振り返りを通して自分の力を伸ばそうとしている姿を
 - ・ 表現を変えて言いたいことを粘り強く書こうとしているか
 - ・ 他の人の作品等から、より良い表現を見出そうとしているか
 - ・ 自分で書いたものを振り返り、改善しようと工夫しているか
 - ・ 自分の課題を見つけ、次に向けて目標設定できているか

で評価することができます。

パフォーマンステストや振り返りシート等の場面に至るまでの普段の授業の中で「主体的に学習に取り組む態度」を育成することが大切です。そのためには、単元計画（次のページ参照）を意識する必要があります。

☆ 単元計画のポイント ☆

- 「生徒につけさせたい力」を明確にし、バックワードデザイン（逆向き設計）で計画している
- 長期的な視点で生徒の資質・能力を育み、生徒の変容を見取る場面を作っている
- どの場面でどのように評価をするかをあらかじめ想定している
- 単元目標の達成に向けて、生徒の状況に応じた段階的な指導（スモールステップ）になっている
- 生徒の学習のプロセス（インプット→インテイク→アウトプット）を明確にしている
- 目的を明確にして言語活動を設定している
- 複数の技能を統合させた言語活動を組み込んでいる
- 目的・場面・状況を意識したコミュニケーションの場面を設定している
- 単元目標を達成したかがわかる評価方法になっている
- 評価規準と評価方法が観点別に整理されている
- 生徒が自分に足りない部分を意識し、次の取組みにつなげられるような振り返りの機会等を設定している

目標→評価規準・方法→授業での活動の順に考えることで、各項目をより明確にする

読んだ内容をもとに情報や考えを伝え合う活動などが考えられる

参考資料

- (1) 府立高校の実践事例 1 の単元計画・指導と評価のポイント
- (2) 府立高校の実践事例 2 の単元計画・言語活動のポイント
- (3) 文部科学省や府教育庁等が作成した資料やWebサイトの紹介



参考資料（1）府立高校の実践事例1の単元計画・指導と評価のポイント

●…形成的評価、○…総括的評価

時	学習内容 [何を学ぶか]	学習活動 [どのように学ぶか]	評価の観点			主な評価規準【観点】 [何ができるようになるか]
			知	思	主	
1	<ul style="list-style-type: none"> 本文Part1：日本の学校制服について学ぶ パフォーマンステストの概要について、説明を聞き、スピーチ内容を考える スピーチに向けて、Paragraphの構成について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 学校をよくする提案に関するブレインストーミング 言語活動 “What do you think about your school uniform?” ペアワーク型リーディングコンプリヘンション 			●	<ul style="list-style-type: none"> 制服についての自身の意見を伝えようとしている。【主】（観察）
2	<ul style="list-style-type: none"> 本文Part2：世界の様々な制服とその背景について学ぶ スピーチに向けて、効果的なIntroductionについて学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク型リーディングコンプリヘンション スピーチに向けて、原稿（Writing）の段階的指導を具体的に計画する 言語活動 “Did you care about school uniforms when you chose your high school?” 	●			<ul style="list-style-type: none"> 日本と同じように制服を採用している学校が多い国もあれば、様々な理由でそうでない国もあることを理解している。【知】（観察）
3	<ul style="list-style-type: none"> 本文Part3：制服がない国々とその背景について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク型リーディングコンプリヘンション スピーチ原稿のピアチェック 			●	<ul style="list-style-type: none"> 相手の原稿を見て良いところは自身のスピーチに取り入れ、改善点についてはアドバイスすることができる。【主】（観察）

時	学習内容 [何を学ぶか]	学習活動 [どのように学ぶか]	評価の観点			主な評価規準【観点】（評価方法等） [何ができるようになるか]		
			知	思	主			
4	<ul style="list-style-type: none"> 本文Part4：制服に賛成か反対か、賛否の理由についてまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 個人型リーディングコンプリヘンション 言語活動 “Are you for or against school uniforms?” “What are your ideas about school uniforms?” スピーチ原稿を提出する 	●	○	●	<ul style="list-style-type: none"> 制服に関する意見について、自分の考えを表現することができる。【知】（観察） 自分の制服についての考えを賛成反対だけに留まらず自由に表現しきちんとその理由を述べる。【思】（観察） 学校を良くするための提案について、メリットや理由、具体例を示しながら、論理性に注意して書いている。【思】（ワークシート） 具体例を入れたり話すペースを変えるなどして相手に伝わるように意識している【主】（観察） 		
<p style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">同じ「表現」という言葉を使っているが、「知識・技能」の観点では「Inputした内容（知識）を伝える」ことを意味し、「思考・判断・表現」の観点では「Inputした情報（知識）を取捨選択（思考・判断）して、伝える（表現）」ことを意味している。</p>								
5	<ul style="list-style-type: none"> 返却された原稿をもとにスピーチを練習（スラッシュ・発音など）する 「つかみ」の部分の改良 	<ul style="list-style-type: none"> 相手を意識したスピーチ練習（スラッシュ音読・アイコンタクト練習） 	<p>効果的な練習ができるように、目標とする評価項目を生徒と共有する</p>			●	<ul style="list-style-type: none"> より良いスピーチになるよう自身の苦手な項目に特化し練習できている。【主】（観察） 	
<p>☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ Performance Test ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆ ☆☆</p>								
6	<ul style="list-style-type: none"> 発表（1人ずつ教員の前で行う） 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチを行う 自身の状況を把握し、次の課題の設定に向けて、振り返りシートを記入する 	<p>生徒が学習を振り返って自己調整する場面を設定する</p>			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 学校を良くするための提案について、メリットや理由、具体例を踏まえて自分の考えを表現している。【思】（スピーチ） 質問、自己開示、データを示すなどの「つかみ」を効果的に活用し、聞き手の理解度を確かめながら発表しようとしている【主】（スピーチ）

参考資料（２）府立高校の実践事例２の単元計画・言語活動のポイント

時	学習内容 [何を学ぶか]	学習活動 [どのように学ぶか]	評価の観点			主な評価規準【観点】（評価方法等） [何ができるようになるか]
			知	思	主	
1 ～ 8	Section 1～4 本文	新出単語理解、内容理解 音読 True or False、Q&A 文法等、表現のまとめ	●	●		重要なキーフレーズを選び出す。【知】（ワークシート） True or FalseやQ&Aを正しく解くことができる。【知】（ワークシート） True or FalseやQ&Aで使った英文を正しく音読できる。【知】（観察） Q&Aにおいて、学んだ表現を適切に使うことができる。【思】（ワークシート）
9	要約	<u>Step 1</u> 主要な情報の抽出：要約する際の焦点を明確にする。 <u>Step 2</u> 言い換え：表現をパラフレーズする。 <u>Step 3</u> 要約文の作成：本文中の例や抽象的な語の概念の説明について工夫する。 <u>Step 4</u> チェックと修正：作成した要約文をペアで読み合う。 <u>Step 5</u> 必要に応じて修正し、工夫したところ等を振り返りシートに記入する。	○	○	○	重要な表現を適切に選び出し、自分の言葉で言い換え、英文を作っている。【知】（ワークシート） 話の流れ、展開を考えて、要約文の構成を工夫して書いている。【思】（ワークシート） クラスメートの要約文との比較で、自分の要約文を振り返っている。【主】（観察、振り返りシート）
10	Dictogloss	<u>Step1. 準備</u> 教科書で学んだSesame Streetの基本的な姿勢についてのキーワードを振り返り、背景知識を確認する。 <u>Step2. 聞き取り</u> 読み上げられる文章を聞き、重要と思われる語彙や表現をメモする。 1回目の聞き取り後、メインテーマの確認をし、再度英文を聞いてメモを加筆する。 <u>Step3. 再構築</u> 書きとったメモを持ち寄り、グループで共有する。 メモを見ながら英文の内容を個人で再構築する。 再構築した作品を持ち寄り、グループで共有する。 クラスメートの作品と比べ、自分の作品を改善する。 <u>Step4. 検討、訂正</u> 指導者が用意したモデル文や、他のグループが書いた作品と自分の作品を比較し、自分の作品の改善点について振り返る。	●	○	○	英文を聞き取り、文章を書く際に必要な重要度の高い情報を選び取る。【知】（ワークシート） すでに学んだ知識と新しい情報を結びつけて、英文を再構築できる。【思】（観察、ワークシート） クラスメートの作品と自分の作品を比較、検討し、自分の作品を振り返って改善しようとしている。【主】（観察、振り返りシート）

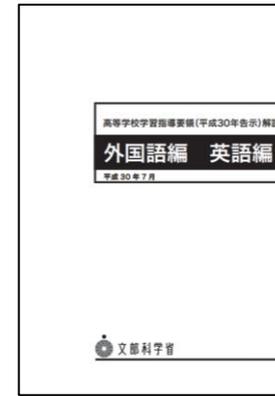
参考資料（3）文部科学省や府教育庁等が作成した資料やWebサイトの紹介

- ・ 高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編

https://www.mext.go.jp/content/1407073_09_1_2.pdf



学習指導要領に示された目標や内容について、考え方などが詳しく解説されています。



- ・ 大阪版CAN-DOリスト

https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/44550/00000000/leaflet_inside1.pdf



「◆ディスクリプタ（～できる）」に対応する「◎タスク例」の一覧と、CEFR-Jの対応表になっています。
このリーフレットの実践例1はB2.1に相当すると考えられます。

話すこと (発表) Speaking (Presentation)



- ◆社会的な話題に関するプレゼンテーションを、聴衆が興味のある点に対応して、内容を調整しながら行うことができる
- ◆社会的な話題に関するプレゼンテーションを行うとともに、聴衆からの質問にも流暢に対応できる
- ◆短い読み物や新聞記事の内容について、自分の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を伝えることができる
- ◆ディベートなどで、社会問題や時事問題について、補助的観点や関連事項を加えながら、話を続けることができる
- ◆ディベートなどで、興味や関心のある話題であれば、自分の主張を明確に述べることができる
- ◆興味や関心のある話題について、自分の意見を発表するとともに、聴衆からの質問に答えることができる

- ◎「再生可能エネルギー」の是非について、自分の考えを明確にして、論理を展開しながらプレゼンテーションする
- ◎自分の学校のよいところについてのプレゼンテーションを英語で行い、聴衆の反応に応じて、内容や方法を調整して発表する
- ◎英字新聞で日本と外国の食文化の違いについて紹介している記事を読んで、その概要を簡潔に話す

CEFR-J
めやす

B2.2

B2.1

B1.2

- ・ 高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料

https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf



「話すこと（やりとり）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」の具体的な事例が掲載されています

パフォーマンステスト実施のTIPS			
やり取り	1	ロールプレイ	フェアトレードの啓発活動について
	2	質疑応答	思い出を伝え合おう
	3	ディスカッション	参加するボランティア活動を決める
発表	4	スピーチ	尊敬する人について話して伝えよう
	5	ポスターセッション	生物模倣学による商品開発について
	6	プレゼンテーション	文化祭での出し物について話して

- ・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校編）

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_gaikokugo.pdf



単元目標→評価規準→指導計画→パフォーマンス課題と採点の基準→評価結果の例、の順で示されています

(1) 目標		
日常的な話題（日本の発明品）や社会的な話題（環境）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由とともに話して伝えることができる。		
(2) 評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 日常的な話題（日本の発明品）や社会的な話題（環境）についての情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的な話題（日本の発明品）や社会的な話題（環境）についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的な話題（日本の発明品）や社会的な話題（環境）についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。

- ・ 「観点別学習状況の評価」実施の手引き 各教科事例集

<https://www.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/pdf/kanntenbetsu%20.pdf>



観点別学習状況の評価について、ペーパーテストやパフォーマンステストでの評価規準の例が記載されています

ウ 評価の規準			
以下の評価基準に基づいて評価する。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	受動態等を、目的や場面、状況などに応じて適切に使用しながら話すことできる。	カードの内容、生徒自身の好きな本や映画等の両方について内容を伝えることができる。	カードの内容、生徒自身の好きな本や映画等の両方に配慮している。
b	受動態等の使用について一部適切でない部分があるが、コミュニケーションに支障なく話すことができる。	カードの内容、生徒自身の好きな本や映画等のどちらかについて内容を伝えることができる。	カードの内容、生徒自身の好きな本や映画等の両方話そうとしている。